

(仮称) 旧上瀬谷通信施設公園の一次整備について

1 GREEN×EXPO 2027 開催までに行う公園基盤整備

(1) GREEN×EXPO 2027 会場整備の構成

GREEN×EXPO 2027 の会場の基盤ともなる、将来の公園に必要なインフラや植栽等の整備を進めています。



図1. GREEN×EXPO 2027 会場整備の構成

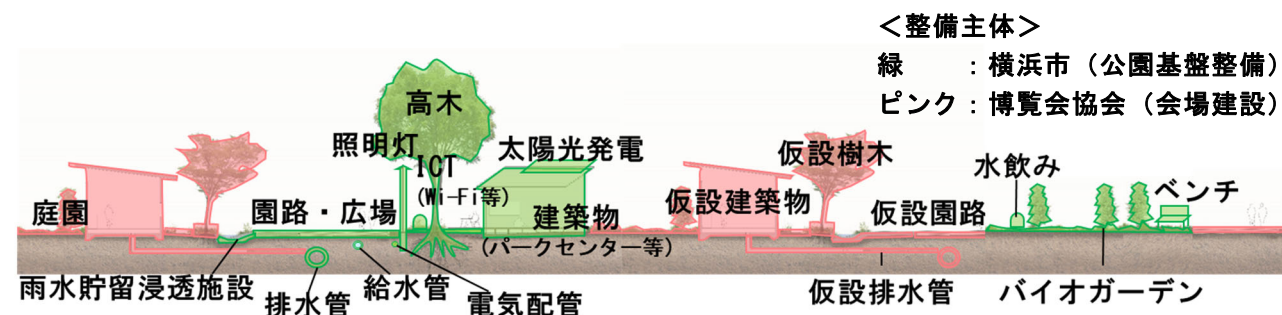


図2. 横浜市と博覧会協会の整備分担（模式図）

(2) 公園基盤整備の内容

ア グリーンインフラ

雨水貯留浸透施設、植栽及び生物生息環境（バイオガーデン）等

イ 地上インフラ・埋設インフラ

園路・広場、照明、電気及び上下水道等

ウ 施設

(ア) ベンチ、水飲み等

(イ) 建築物

・パークセンター1及びパークセンター2

・その他の建築物（トイレ等）

エ グリーンエネルギー・デジタル

太陽光発電設備、ICT機器（Wi-Fi等）の一部先行整備



図3. 公園基盤整備の内容

(3) パークセンター1及びパークセンター2の概要

公園の利用者サービスや管理機能に加え、市民の体験学習や活動の拠点等となることを想定しており、GREEN×EXPO 2027の展示施設としても活用されることなども踏まえ、環境（創エネ・省エネなど）と防災（災害時利用など）をコンセプトとした建築物とします。

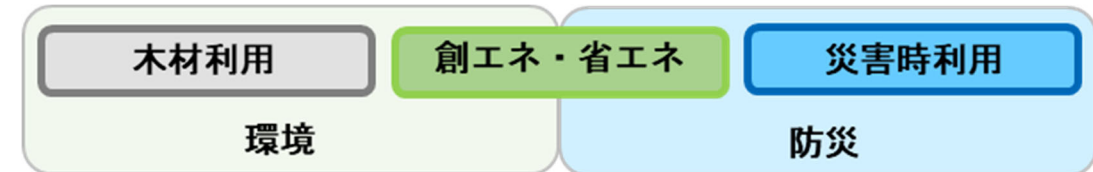


図4. パークセンター1及びパークセンター2のコンセプト

表1. パークセンター1及びパークセンター2の概要

項目	パークセンター1	パークセンター2	
用途	公園公開後（想定）	環境体験学習施設等	環境活動拠点等
	GREEN×EXPO 2027	展示施設	展示施設
構造	平屋 木造一部RC造及びS造	平屋 木造一部RC造及びS造	
延床面積	約3,900㎡	約1,800㎡ (一部に文化財建造物*を活用)	
工期（予定）	令和6～8年度	令和7～8年度	
備考	・デザイン監修：隈研吾（GREEN×EXPO 2027 マスターアーキテクト） ・災害時には広域応援活動拠点における補助的施設としての活用も想定 ・パークセンター1は、設計・施工一括発注方式での発注を予定		

*文化財建造物（旧太田家住宅）の概要：県指定文化財（教育委員会が部材保管）、木造平屋建て、延床面積約300㎡

2 今後の整備スケジュール

- 令和5年度 既存樹木の移植、高木の植栽、埋設インフラ（雨水・汚水排水施設、給水設備、電気設備）等
- 令和6年度 植栽、埋設インフラ、園路・広場、ベンチ等
- 令和7年度～ 建築物、植栽、埋設インフラ、園路・広場、ベンチ等